

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（南）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数A「数量関係」B「面や辺の位置関係など（面積全般）」「式の意味を理解して説明する。」に課題。 国語A「中心となる内容をつかむ。」B「読む能力」に課題	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	問題データベースを活用して、基礎基本の定着を図る。	B	問題データベースを、朝学習に位置づけて全校一斉に取り組む。（第1・2週）。1月は計算、2月は数量関係、3月は弱点克服の強化月間を設定する。2度同じ問題を解き、回答率が伸びているか検証を行う。（3学期）
①	思考力・表現力を身につける。	B	B問題に類似した問題を解いて、解き直しも行う。解き方の記述を書くことで条件に沿った記述ができるようにする。記述の仕方については校内研修で解き方の研修を月に1度行う。来年度は全国学力・学習状況調査のB問題で県平均との差を10%以下にする。（3学期・来年度）
②	自主学習の取組みを定着させる。	B	自主学習ノートに「めあて・まとめ・振り返り」を記述させることにより何を学ぶかを明確にもち取り組ませるようにする。自主学習コンテストを学期に2回行い児童が意欲的に行うことができるようにする。（3学期）
③	家庭学習の定着を図る。	B	家庭学習が定着しにくい児童には、休み時間や放課後などで個別指導を行い、2学期よりも未提出率の低下を図る。全学年が90%以上の提出にする。（3学期）
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			